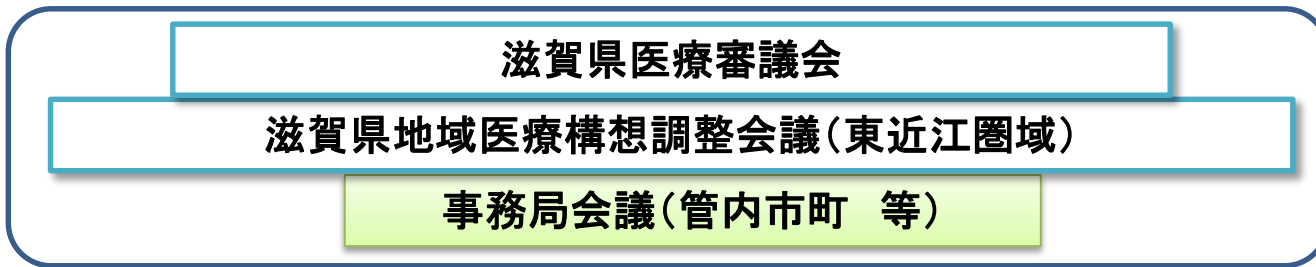
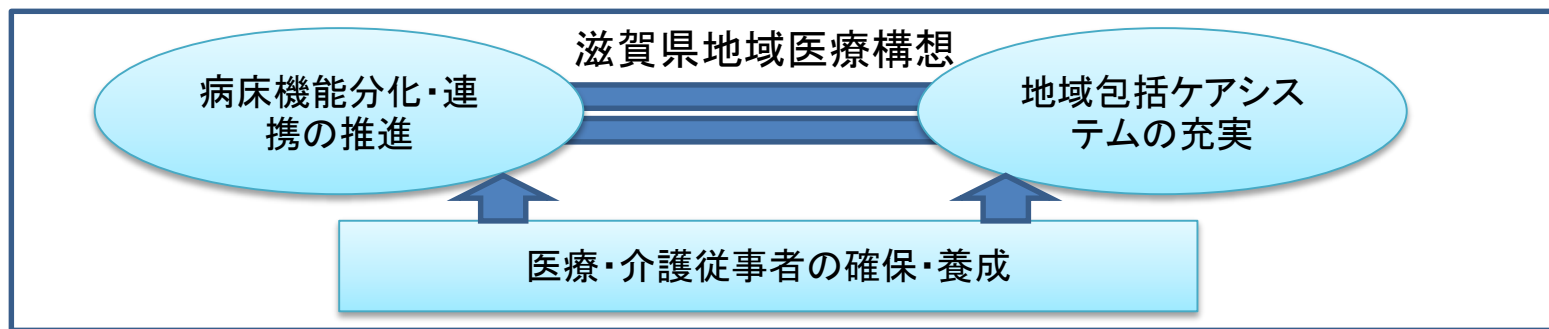


令和元年度 東近江圏域地域医療構想調整会議 全体スケジュール

●滋賀県地域医療構想関係 ○地域医療介護総合確保基金関係
◎滋賀県保健医療計画関係 ◇地域包括ケアシステムの充実

時期(予定)	地域医療構想調整会議	事務局会議 (地域医療構想調整会議前に開催) 市町における地域包括ケアシステムの推進 各機関・団体による地域包括ケアシステムの推進 ＝ 圏域の課題に対する対応	備考
R1.7.11 (木)	第1回 ●地域医療構想実現に向けた取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度病床機能報告の分析について ・療養病床実態調査(案)について ○令和2年度地域医療介護総合確保基金(医療分)事業提案 ◇「東近江圏域医療福祉ビジョン」の実施計画について	第1回(R1.7.3) ・年間スケジュール ・地域医療構想調整会議(第1回)について ・「東近江圏域医療福祉ビジョン」の実施計画について	
R1.10.1 (火) 第2回	第2回 ●地域医療構想実現にむけた現状と課題 療養病床実態調査結果について 外来医療計画について ○平成31年度地域医療介護総合確保基金について ◎滋賀県保健医療計画に基づく 5疾病5事業(小児救急・小児在宅・脳卒中)の現状と課題 ◇市町の地域包括ケアシステムの現状と課題について	第2回(R1.9.12) ・地域医療構想調整会議(第2回)について ・市町における地域包括ケアシステムの取り組みについて	
R1.12～ R2.1	第3回 ●地域医療構想実現にむけた現状と課題について (国のデータ分析結果から) ◎滋賀県保健医療計画に基づく 5疾病5事業(がん・在宅医療)の現状および課題について ◇市町の地域包括ケアシステムの現状と課題について	第3回 ・地域医療構想調整会議(第3回)について ・地域包括ケアシステムの取り組みについて	
年度末	第4回 ●東近江圏域地域医療構想実現に向けた取組みについて ○平成32年度地域医療介護総合確保基金について ◇圏域・市町の地域ケアネットワークの現状と課題について ◇「東近江圏域医療福祉ビジョン」の事業計画について	第4回 ・地域医療構想調整会議(第4回)について ◇圏域・市町の地域ケアネットワークの現状と課題について ◇「東近江圏域医療福祉ビジョン」の事業計画について	



- 地域ケアネットワークの推進
 - ・難病対策地域協議会
 - ・感染症予防連絡会議
 - ・周産期保健医療連絡協議会
 - ・自殺対策連絡協議会
 - ・精神科救急調整会議
 - ・糖尿病・慢性腎臓病地域医療連携推進会議
 - ・災害医療体制検討会
- 在宅医療・介護連携の推進
 - ・退院支援ルール検討会
 - ・在宅ホスピス緩和ケア推進会議
 - ・地域歯科保健調整会議

- 地域包括ケアシステム構築上の課題
(介護保険事業計画、地域福祉計画
障害福祉計画 等)
- 地域ケア会議
(個別・地域)
- 多職種連携
ネットワーク

- ・医師会、歯科医師会、薬剤師会
 - ・医療機関
 - ・住民団体
- 等

住民の暮らし・個別支援 等

保健所

市町

関係機関・住民団体²

できる限り元気に活動し、最期まで安心して住むことができる
「地産」「地育」「地療(老)」「地死」の東近江をめざす

目標1

住民の理解・参加のもと、圏域の医療福祉ビジョンが描かれている(自助・互助・共助のイメージの共有)

<達成条件>

- 住民参加のもとで圏域の医療福祉について検討する場がある
- 医療福祉ビジョンについて地域に周知できている

目標2

適切な医療機能の分化・連携が図られている

<達成条件>

- 医療の機能が明確になり関係者間で共通理解できている
- それぞれの機関の機能を果たしている
- 機能に併せて連携ができている(連携のためのツールがある)
- 医療の機能が明確になり地域住民に周知できている
- 地域住民が医療の役割や機能分担を理解し適切な受診行動をとれる
- 多職種連携の場がある

目標3

年をとっても、認知症になっても、がんになっても、障害があっても地域で最期まで安心して暮らすことのできる地域包括ケア(地域丸ごとケア)のシステムづくりができている

<達成条件>

- 関係者が医療福祉システムについて検討する場がある
- 関係者が、システムについて共通認識できている
- 関係者や地域住民が生老病死との向き合い方について考える機会がある

目標4

住民自らが「生老病死とどう向き合うか」という考えを持ち、地域の医療福祉と主体性を持って関わっている

<達成条件>

- 地域住民が、自発的に地域の医療を守り育てる活動を進める
- 地域の自助、互助、共助の活動が進む
- 地域住民が生老病死との向き合い方について考えるきっかけがある
- 地域住民が行っている医療福祉に関する地域活動の情報が集約できて、情報発信されている

目標5

医療福祉職が働きたくなる魅力ある地域づくり:地域全体で取り組む人材育成

<達成条件>

- 医療福祉に携わる人材が増える
- 潜在的な人材を発掘し、育成する場がある
- 地域の関係者ネットワークの中で補うことができる

